



Tea Time

日赤医療センターの基本理念
赤十字精神『人道・博愛』の実践

『人道・博愛』の赤十字精神を行動の原点として

治療のみならず

健康づくりから

より健やかな生涯生活の維持まで

トータルでの支援サービスを提供します

特集

こどものための 医療 (小児科編)

HOT TOPIC

腹腔鏡下 ヘルニア 修復術



Series

薬のはなし

ママと赤ちゃんの

HAPPY BIRTH ROOM

ほっと。プレイス

HOT
TOPIC

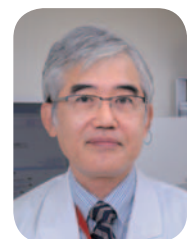


▼腹腔鏡下ヘルニア修復術の様子



腹腔鏡下 ヘルニア修復術

ヘルニアといえば、椎間板ヘルニアを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、ここでは、おなかの中（腹腔）の臓器が内圧により外に出るヘルニアに対する比較的新しい治療法「腹腔鏡下ヘルニア修復術」についてご説明します。



胃・食道外科 部長

酒井 敬介
さかい・けいすけ

どんな
病気？



おなかのヘルニアとは、
腸が出たり入ったり
する状態です。

おなかのヘルニアには下表のとおり、いくつかの種類があります。いずれも腸が出たり入ったりするのですが、通常、痛みはなく、仰向けに横になると平らになります。この状態では手術を急ぐ必要はありませんが、年齢を重ねるにつれて、飛び出た袋（ヘルニア嚢）の大きさが大きくなつていきます。

また、出てきた小腸などの内臓が戻らない状態を嵌頓（かんとん）といいます。消化管が閉塞（へいそく）して腸閉塞になるとともに、内臓に届く血管が遮断され、激しい痛みとともに小腸が壊死（えし）に陥り、最悪は死に至ることもあります。

こうした理由で、早めの手術をお勧めしています。

外鼠径ヘルニア

男性が80%を占めるヘルニアです。鼠径部（太ももや足のつけ根）には、鼠径管と呼ばれる管があります。鼠径管は、男性では精管や精巣動静脈、女性では子宮円索（子宮を支えるひも）が通っている管で、腹腔とは、内鼠径輪を通じてつながっています。先天性のケースや、加齢に伴って筋肉が弱くなり、腹圧に負けて出てくるケースなどがあり、あらゆる年齢層で起こります。

内鼠径ヘルニア

50歳以上の高齢男性に起こることが多く、外鼠径ヘルニアよりも内側の筋肉が緩んで伸びることにより出てくるヘルニアです。

大腿ヘルニア

外鼠径ヘルニアや内鼠径ヘルニアは、鼠径靭帯（じんたい）という組織の頭側から出てくるヘルニアであるのに対し、大腿ヘルニアは鼠径靭帯の足側から出てくるもので、圧倒的に女性に多いのが特徴です。

腹壁癭痕ヘルニア

おなかの手術後に縫い合わせた筋膜が破れ、皮膚の下に、腹膜とともに腸が脱出する状態です。

臍ヘルニア

先天的に臍（へそ）の筋膜が弱く、肥満などとともにヘルニアになるタイプです。

どんな手術？



おなかに開けた小さい穴からカメラを入れ、モニターを見ながら手術します。

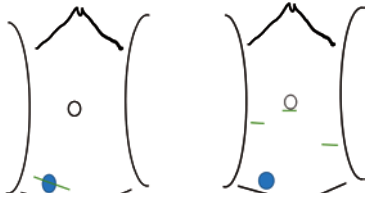
● 図 1

従来の手術法

ヘルニア局所を長さ6cm程度切開する。

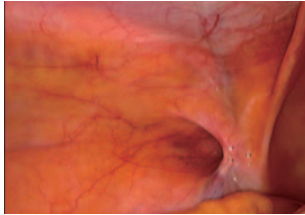
TAPP法

長さ5~12mmの傷が3カ所。ヘルニア局所は切開しない。



おなかに小さい穴を数カ所開け、腹腔鏡というテレビカメラでおなかの中を見ながら行なう手術を腹腔鏡下手術といっています。日赤医療センターでは、胆嚢切除、胃切除、結腸切除、脾臓摘出、婦人科系の手術などで腹腔鏡下手術を行なっています。おなかのヘルニアに対してもこのほど、後述する新しい医療機器(図3や図4)の開発に伴い、保険適用

● 図 2



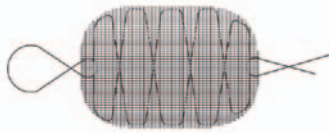
である「腹腔鏡下ヘルニア修復術」を始めました。ここでは、大人の鼠径ヘルニアと大腿ヘルニアに対する「TAPP法」(Transabdominal preperitoneal approach)という手術法を紹介いたします。

● TAPP法

従来の手術法では、鼠径部の皮膚を6センチ程度切つて筋膜を切開した上で、ヘルニア嚢を切除または腹腔内に戻し、メッシュを挿入して留置してしました(図1の左)。

一方、TAPP法では、へそに12ミリ、へその両側に12ミリと5ミリの筒を挿し、腹腔にCO₂を注入します(図1の右)。へその傷からカメラを入れるので、腹腔内からヘルニアの出口(ヘルニア門)を簡単に発見することができます(図2)。そこで、ヘルニア門周辺の腹膜を全周に切開し、ヘルニア嚢を切り離し、腹腔鏡用に開発された特別なメッシュ(図3)

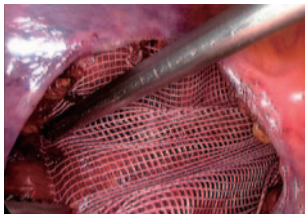
● 図 3 パリテックス™ フォールディングメッシュ



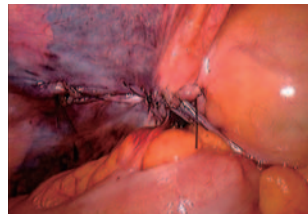
● 図 4 アブソーバタック™



● 図 5



● 図 6



ブソーバタック™(図4)を用いて筋肉内側に固定し(図5)、メッシュを腹膜で覆い、腹膜を修復して終わりです(図6)。

表1に、TAPP法の長所・短所を従来の手術法と対比してまとめました。長所は、傷が小さいので美容的に優れ、術後の疼痛が少ないことです。また、両側ヘルニアでも同じ傷で手術が行なえます。欠点は時間がかかること、手術費が高いく、全身麻酔が必要なことなどです。なお、従

● 表 1

TAPP法の長所	従来の手術法の短所
術後早期の疼痛が少ない。	術後早期の疼痛が強い。
傷が小さく、目立たない。	傷が長く、美容的に劣る。
両側ヘルニアでも同じ傷で行なえる。	両側ヘルニアでは両側に傷が必要。
慢性疼痛が少ない。	術後、長く疼痛違和感を訴えることがある。
内・外合併鼠径ヘルニアでも見落とすことはない。	内・外合併鼠径ヘルニアでは見落とすことがある。

TAPP法の短所	従来の手術法の長所
手術時間が長い(1時間30分~2時間)。	手術時間が短い(1時間以内)
全身麻酔が必要。	脊椎麻酔、局所麻酔でも可能。
手術費用が高い。	手術費用が安い。
前立腺がんの手術後などの下腹部手術後は困難。	手術後でも可能。

来の手術法とTAPP法のいずれの方法でも入院期間は3~5日で、抜糸は不要です。今後は鼠径ヘルニア以外の腹壁癒痕ヘルニアや臍ヘルニアなどでも順次、腹腔鏡下ヘルニア修復術を導入する予定です。日進月歩の医療技術・医療機器の進歩により、外科の手術法も日々進化しています。日赤医療センターは今後も引き続き、体に優しい手術を追求していきます。



の

た

め

の

医療

小児科編

こ

ど

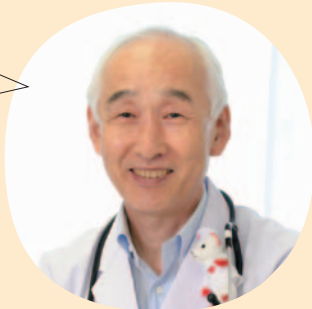
も



「急に熱が出た」「いつもと様子が違う」「成長が遅いのでは…」など、子育て中は不安や心配事が尽きないことでしょう。本特集では、子どもが病気になるたときの対処法や、日赤医療センターで行なっている治療やサポートの一部をご紹介します。

小児科医は皆さんのパートナーとして、日々、子どもたちの成長を見守り、子どもたちを病気から守り、病気の子どもに最善の医療を尽くし、ご家族と共に子どもに寄り添って歩んでいきます。

小児科って、
どんなところ
ですか？



小児科 部長
麻生 誠二郎
あそう・せいじろう

小児科は、何歳までの子どもが対象でしょうか。

日赤医療センターでは、生まれたばかりの赤ちゃんは新生児科が担当し、小児科はその他の0歳から、身体や心が大きく変化する思春期のころまでの幅広い年齢層の子どもを診ています。最近では、生まれつきの

病気や障害を抱えた状態で成長して大人になる方など、小児科医の継続的なサポートが必要な患者さんも増えています。

子ども専門の診療科ならではの特徴がありますか。

小児科には、「治す医療」と「育

「育てる医療」の大きく2つの目的があります。

「治す医療」とは、病気の子どもに適切な治療を提供することです。小さな子どもは、自分ではつきりと症状を訴えることができません。そこで小児科医は、子どもの様子を慎重に診察し、保護者の訴えに耳を傾け、適切な検査を行ないながら病気を鑑別していきます。圧倒的に多いのは気管支炎や胃腸炎、上気道炎(風邪)などの比較的軽い病気ですが、それらとよく似た症状の中には、重い病気が隠れていることがあります。「多くの患者さんの中から、数は少ないが重症な患者さんを見逃さずに『救い』上げる」ことが小児医療の使命です。

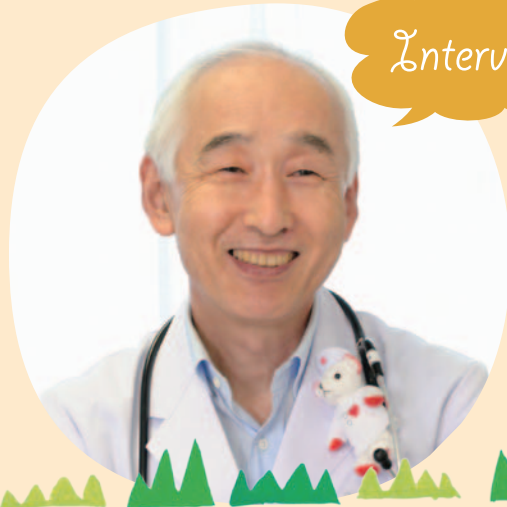
もう一方の「育てる医療」とは、子どもが赤ちゃんから大人に向かって成長していく過程を支える医療です。身体は順調に大きくなっているか、歩いたり話したりすることが問題なくできているか。身体の発育に合わせて運動能力や言語能力、コミュニケーション能力も発達していきますので、それらを定期的にチェックして、発育や発達の遅れが目立つお子さんには適切な支援をしてあげる。こちら小児科の大切な

役割です。

——日赤医療センター小児科の特徴を教えてください。

どのような病気に對しても最善の医療が提供できるよう体制を整えて

Interview



います。外来は一般外来と8つの専門外来(神経・発達、未熟児フォロー、循環器、アレルギー・喘息、内分泌、腎臓、B型肝炎、夜尿症)があります。診療時間外(平日の夜間や休日)には緊急の処置や治療をする救急外来があります。

入院は小児専用の病棟で、複数の主治医や小児看護に習熟したスタッフが治療・ケアを行なっています。

院内の外科系診療科との連携も確立されています。特に日赤医療センターの新生児科には、心臓や消化管などに生まれつきの病気がある赤ちゃんが数多く入院してきます。そういう赤ちゃんは、心臓血管外科や小児外科で手術を行いますが、手術後に内科的な診療が必要な場合も多くあり、引き続き小児科でサポートしています。

さらに、重度の障害があるお子さんを自宅で育てているご家族のために、在宅医療を担っていただける地域の医師の方々と在宅医療ネットワークづくりを進めています。

——小児科に行くべきか、他の診療科を受診すべきか迷うときは、どうすればよいのでしょうか。

小児科は、子どもの総合医です。子どもに関することなら基本的にどんな内容でも診察しています。判断に迷う場合は「受診相談」の目的でも構いませんので、まずは小児科を受診してください。小児科を通じて適切な診療科をご案内することもできます。

一方、症状が明らかで判断に困らない場合は、直接、該当する専門科を受診するとよいでしょう。例えば、転んで手や足をけがしたときは小児外科、やけどなら小児外科または皮膚科、皮膚のトラブルは皮膚科、耳のトラブルは耳鼻咽喉科です。

——最後に、保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

自分で症状を訴えることができない幼い子どもの場合、「その子の普段の様子を知っておくこと」はとても重要です。ミルクの飲み方、排せつ、睡眠、表情、顔色などを日ごろからよく観察していれば、「具合が悪い」という子どものサインに気づけると思いますし、小さいときから「かかりつけ医」を持ち、その先生にも子どもの様子や健康状態を把握しておいてもらえば、重症な病気が疑われる場合に適切なアドバイスや指示が受けられるはずですよ。

保護者の方も、かかりつけ医も、日赤医療センターの医師や看護師も、子どもを病気から守りたい、健康に育ってほしいという思いは同じです。お互いによく話し合い、情報を共有しながら、一緒に大切な子どもたちを見守っていきましょう。



小児科 医師
大石 芳久
おいしい・よしひさ



受診の道しるべ



高

緊急度



夜間の救急外来を受診

午前中の外来まで待つには心配な状態です。安全な方法で病院へ向かいましょう。外来は大変混雑していることもあります。受診時に緊急度の高い状態と判断されれば、順番を早めて診察します。そのため受け付け順に診察が受けられず、お待ちいただくこともあります。救急外来の看護師の指示に従っていただきますよう、ご協力をよろしくお願いします。

例えばこんな症状のとき

生後3カ月までの発熱

生後4カ月以降の発熱で、
明らかにぐったりしている場合や
嘔吐・頭痛を伴うとき

けいれんが5分未満で治まった場合

ヒューヒュー響く呼吸

オットセイのような咳き込み

血の混じった嘔吐物や下痢

足の付け根や陰嚢が腫れる



救急車を呼んで受診

時間を問わず直ちに受診した方がよい状態です。落ち着いて救急車を呼び、救急隊の指示に従いましょう。診察券、健康保険証、公費医療証(券)、現金は持ちましたか？ 確認しましょう。

例えばこんな症状のとき

意識がない

顔色が悪い

呼吸困難

5分以上続くけいれん

救急車は「119」番です！

「119」に電話をかけると、まず「火事ですか？ 救急ですか？」と聞かれますので、「救急車をお願いします」と伝えます。続いて「どうしましたか？」と聞かれますので、落ち着いて症状を伝えましょう。最後に住所、電話番号、名前を聞かれます。救急車が到着すると、救急隊は緊急度に応じて最も適切な病院へ搬送してくれます。

子どもは日中は元気でも、夜になって急に発熱したり嘔吐したりすることがあり、子どもの健康に対する心配は尽きません。皆さんは、お子さんがどのようなときに夜間の救急外来を受診しようと思いますか？ 症状によっては、深夜に救急車を呼んで受診したほうがよい場合もあれば、翌日以降の日中に受診したほうがメリットが多いこともあります。

このページでは、典型的な症状や状態を緊急度に応じて「救急車を呼んで受診」「夜間の救急外来を受診」「昼間の外来を受診」の3段階に分類してみました（ここでの「発熱」は体温38度以上とします）。

小児救急電話相談

8 0 0 0

お子さんの急な病気やけがにどう対処すればよいのか迷ったときは、小児救急電話相談（全国同一の短縮番号#8000をプッシュ）を利用しましょう。小児救急電話相談では、小児科の医師や看護師から、お子さんの症状に応じた適切な対処法や受診する病院などのアドバイスが受けられます。

*都道府県によって実施時間帯が異なります。

【東京都の場合】

月～金 17:00～22:00

土・休日・年末年始 9:00～17:00

子どもの受診で迷ったら

1

こどもの救急ホームページ

<http://kodomo-qq.jp/>

日本小児科学会が開設しているホームページ「こどもの救急」では、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診すべきかどうかの判断の目安を提供しています。



子どもの受診で迷ったら

2

低



昼間の外来を受診

日赤医療センター小児科の一般外来は、午前中は医師2名、午後は1名で診察しています。症状や経過により採血やレントゲン検査を行なうことがあるので、できるだけ午前中の外来を受診しましょう。

夜間の救急外来の主な目的は「緊急時の対応」ですので、そこで出される薬の量は夜間や休日を乗り切るための分です。ですから例えば、熱があるときでもそのほかの症状がなく、水分も取れるようであれば、日中の外来を受診したほうがまとまった日数分の処方せんがもらえたり、日中にしかできない詳しい検査が受けられたり、落ち着いた相談ができたりと、さまざまなメリットがあります。

日赤医療センターの救急外来では、「トリアージシステム」を導入しています！

当センターの救急外来では、診察前に看護師が病状を伺い、直ちに医師の治療が必要かどうか病状の緊急度を判断させていただきます。この過程を「トリアージ」と呼び、緊急度に従って診察の順番が決まります。

トリアージは、緊急度の高い子どもに遅滞なく的確な診察・治療を行なうために必要なシステムです。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

川崎病

すべての子どもたちが合併症を残さず
帰宅できるよう、努力しています

川崎病という病気をこ
存じでしょうか。熱や発
疹が出て目が充血し、唇
や舌が赤くなり、首のリンパ節が腫れ、手足が霜
焼けのように赤く腫れ、後に指先
から皮がむけてくるといった症状
が見られる、小さな子どもたちに
多く発症する病気です。この病気を
発見したのは日赤医療センター
小児科の前々部長だった川崎富作
先生です。最初の報告は約50年前
の1967年でした。新しい病気
と認められない時代もありました
が、現在は世界中で認められるよう
になり、教科書にも載る病気となり
ました。全身の細めの動脈が一時
的に炎症を起こすことでいろいろ
な症状が現れることは分かっ
てきましたが、原因はいまだに不明
です。冬場に多く、ある地域に集中

発症したりする感染症的な要素も
ありますが、海外で暮らしてい
ても日本人に多く発症し、罹患率
が欧米人の20倍以上であること
から、遺伝的要因もありそうです。
日本の年間発症数は約1万2000
人で、増加する傾向にあります。
病気は一過性のものと考えられ
ていますが、入院治療が必要で
す。なぜなら、ポンプとして働いて
いる心臓の筋肉に酸素と栄養を運ぶ
「冠動脈」という血管が拡張してコ
ブのようなものができることがあ
り、これを防ぐために病気の初期
に集中した治療が必要だからです。
この20年の間に治療法が改善され
、後々問題となるような大きなコ
ブの発生は500人に1人と減って
きてはいますが、なくなつたわけ
ではありません。1階の総合案内
の脇にある川崎先生のレリーフが
目を光らせている中、当科では変
わらず川崎病の診断治療に取り組
み、川崎病にかかったすべての子
どもたちが合併症を残さず自宅に
帰れるよう努力しています。



小児科 副部長
土屋 恵司
つちや・けいじ

*川崎先生は昨年米寿を迎え、現在も元
気に活躍中です。

病気ピックアップ

日赤医療センター小児科外来では、川崎病や先天性心疾患、
アレルギー疾患など数多くの疾患の専門的診療を担っています。

先天性心疾患

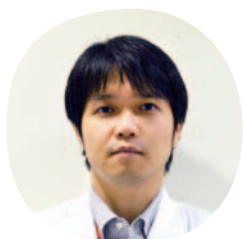
検査から治療後のフォローまで
一貫した治療を実践しています

先天性心疾患は出生児
の約1%に認められ、生
まれつきの形態異常の中
で最も多くを占めていま
す。心臓にある4つの部
屋を隔てる壁が空いていたり、
心臓の弁や血管が狭くなつてい
り、心臓の部屋が4つそろつてい
なかつたりと、いろいろな種類が
あります。胎児早期に心臓が作
られる過程の中で、その設計図と
いうべき遺伝子にさまざまな異常
が起こることが原因と考えられて
いますが、中には風疹ウイルスの
ような、胎児早期の母体感染が
原因となる場合もあります。

ける胎児心臓スクリーニングの普
及に伴い出生前に診断されるケー
スも増え、早期の治療方針決定に
つながっています。重症度は、薬
物治療やカテーテル治療、手術治
療を要さないものから複数回のカ
テーテル検査や手術を要するもの
まで多岐にわたります。

日赤医療センターは区西南部
(渋谷区・目黒区・世田谷区)の「総合
周産期母子医療センター」に認
定されているため、産科・新生児
科・心臓血管外科が協力して他の
医療機関からの紹介も積極的に受
け入れ、診療に当たっています。
診断や経過観察のために行なう心
臓超音波検査は年間3000件を
超え、診断や治療のための心臓カ
テーテル検査は年間1000件程度
実施しています。診断から内科・
外科治療、さらに治療後のフォ
ローまで一貫した治療を実践して
います。

※出産前後の母体・胎児や新生児に対し
て、高度で専門的な医療を提供できる
施設



小児科 医師
有馬 慶太郎
ありま・けいたろう

アレルギー

食物除去は必要最小限に。
ステロイド外用剤は正しく用いて
症状をコントロールします

「アレルギー・喘息外来」では、主に食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、気管支喘息などの診療を行なっています。

済むような診療を心がけています。重症児へのエピペン[®]（アナフィラキシー補助治療剤）の処方や、食物アレルギーの診断に重要な経口負荷試験も実施しています。

食物アレルギーは、ここ数年で世界的に見ても大きく治療方針が変わってきた分野です。これまで世界各国で実施されてきた食物アレルギー予防のための「食物除去」の試みのほとんどは失敗に終わり、「過剰な除去」を続けることが逆に食物アレルギーを引き起こしてしまいう可能性さえ指摘されています。「過剰な除去」はまた、子どもの健全な発育・発達に悪影響を及ぼす可能性もあります。除去すべきものと除去しなくてもよいものを明確にし、「必要最小限の除去」で

アトピー性皮膚炎に関しては、

適切なスキンケア指導を行なった上で、必要なお子さんにはステロイド外用薬を使用した治療を行なっています。ステロイド外用薬の使用については、ご家族の中には不安に思う方がいらっしゃると思います。正しく使用すればとても有効な薬剤であり、副作用を回避し、再燃（湿疹が悪化すること）することなく湿疹をコントロールすることが可能です（詳細は13ページ「薬のはなし」参照）。ステロイド外用剤の処方時にはご家族が安心して使用できるよう、軟こう塗布の回数や塗布量などを明確にした診療を心がけています。



小児科 医師
世間瀬 基樹
よませ・もとき

発達の遅れ・発達障害

発達の遅れが気になるときは、
「発達外来」を受診しましょう

母子健康手帳には月別・年齢別に発達の目安が記載されています。母子健康手帳の記載と比べて多少でも首が据わるのが遅かったり、歩き出しやおしゃべりが遅かったりすると心配になりますね。しかし、多くの場合は「個人差」の範囲で、問題になることは少ないです。

発達の遅れが気になるとき、日赤医療センターでは専門外来である「発達外来」で診察を行ないます。その場合でも「個人差」や「おくて」であることが多く、抱っこ

の仕方を変えたり、うつぶせ遊びをさせたりと、ちよつとした対応で発達を促すことができます。発達の遅れの程度が強い場合は、脳や脊髄、神経、筋肉などの病気が

あることもありますので、検査をし、必要であれば治療します。

「チョロチョロして目が離せない」「寝つかせるのが大変だ」「言うことを聞いてくれない」といったことはよくあることで、大きくなるにつれて目立たなくなることが多いです。ただし、その程度が非常に強く、保護者の方が対応に疲れ切ってしまうような場合は「発達障害」である可能性があります。また、保育園や幼稚園などで「自分勝手な行動をする」「ルールを守れない」などを理由に大きな問題となる場合も「発達障害」である可能性があります。

発達障害には「注意欠如多動症」や「自閉スペクトラム症」などがあります。発達障害が疑われるお子さんに対して一般的に行なわれているのは、地域の発達センターなどで楽しく遊びながら「望ましい行動の仕方を覚えていく」方法

です。障害の程度が強いときは、症状を緩和する薬を内服することもあります。「発達障害」が心配される場合も「発達外来」を受診してください。



小児科 部長
麻生 誠二郎
あそう・せいじろう



小児科 医師
今井 庸子
いまい・ようこ

発達・発達サポート

日赤医療センター小児保健では、
乳幼児の健康診断・予防接種・栄養相談・
育児相談・心理相談を通じて、
お子さんの健やかな成長をサポートしています。

予防接種

ワクチン接種を積極的に推奨

小児科は「予防医療」の最先端。子どもにはワクチンで防げる病気（VPD）がたくさんあります。VPDは子どもたちの命に関わる重大な病気です。「ワクチンを接種していれば、こんなことにならなかったのに……」と後悔しないために、当科では常に最新情報を提供できる体制を整えてワクチン接種を積極的に推奨しており、国内でもトップクラスの実績を誇ります。持病が原因で他の医療機関では接種が難しいお子さんに対しても積極的に接種するとともに、体調のよいときにいつでも接種できるような外来システムを取っています。



▲予防接種時の診察

●**予防接種外来（月～金/予約は不要）**
受付 13:00～15:30 接種 14:00～

食育

子どもの食育はおなかの中から

食育基本法が2005年に制定され、『食』の重要性が周知されるようになりました。では、食育の始まりはいつだと思いますか？ 口から食べる離乳食からではありません。赤ちゃんの体の基礎が作られるのはお母さんのおなかの中ですから、胎児期からの栄養、つまり妊娠中のお母さんの『食』から子どもの食育は始まります。妊娠中、そして授乳中の食事が赤ちゃんの体には大きく影響します。赤ちゃんに授乳するのが大変で自分の食事にまで手間をかけられないと考えているお母さんも多いと思いますが、ぜひもう一度、このことを考えてみてください。



▲管理栄養士による個別栄養指導

乳幼児期についての食習慣は大人になっても続きます。そして、食事が栄養を摂るためだけでなく、楽しい時間となるような環境づくりも大切です。

乳幼児健診

一緒に問題を解決し、育児をサポート

乳幼児健診の当初の目的は、赤ちゃんの成長・発育状態の確認や、先天性の病気を含めたスクリーニング（選別）をすることででしたが、最近ではそれだけでなく、積極的に子ども



▲看護師による問診

の健康増進を図り、子どもが健全に育つための環境を整えることも大切な目的となっています。

核家族や共働きの家庭が多く、子育てに伴うストレスや不安を抱えているにもかかわらず、どこに相談すればよいかわからない方もいらっしゃると思います。そこで小児科や新生児科の医師、看護師、助産師、管理栄養士、臨床心理士が相談窓口となり、一緒に問題を解決し、子育てをサポートしていくのが乳幼児健診です。ぜひ受けていただきたいのは生後1カ月、3・4カ月、6・7カ月、9・10カ月、1歳6カ月、3歳児健診です。それ以外の時期の健診は、不安なことがあるときや受診を指示されたときに受けるようにしてください。

外来では、①看護師または助産師による問診、②管理栄養士による個別栄養相談、③母乳相談（1カ月のみ）、④医師の診察を軸としています。また、心理相談では、育児中に気になることや、心理的な問題を抱えるお子さん、発達に心配のあるお子さんの相談にベテラン臨床心理士が対応しています。

歯科健診は日赤医療センターでは行なっていませんが、定期的な歯科健診は非常に大切ですから必ず受けるようにしましょう。かかりつけの小児歯科を早くから持つこともお勧めです。健康な乳歯あってこそその健康な永久歯です。虫歯にならないように、乳歯が生えてきたら口腔ケアを始めましょう。

●日赤医療センターの乳幼児健診

予約制	月～金	
	午前	午後
1カ月健診	○	○
上記以外の健診	○	×

[注]

- ・健診時は予防接種も可能。
- ・自治体発行の無料券を利用できる場合がありますので、各自自治体にご確認ください。

スタッフからのメッセージ

日赤医療センター小児科の看護師や保育士は、
子どもたち一人一人の状況に応じたケアやサポートに、心を込めて取り組んでいます。

小児病棟

子どもの回復力を引き出す



6B病棟 看護師長
永安 久美
ながやす・くみ

日赤医療センター6階にある小児病棟（6B病棟）には、生後間もない赤ちゃんから中学生までの幅広い年齢層のお子さんが入院しており、

発達段階に応じた

さまざまな支援を行なっています。看護部の理念の中には「その人が健康に生きる力を引き出すことを支援し」という部分があります。私たちはお子さんが持っている回復力を最大限に発揮できるようなケアを心がけています。つらいことの多い入院生活ですが、退院時には「頑張ったね」と笑顔でお見送りできるよう、6B看護スタッフ一同、心を込めてケアに当たっています。

入院中の子どもを支援

私たち保育士は、子どもと家族が安心して入院生活を送れる環境を提供し、入院中でも子どもらしい生活が送れるように生活や遊び・学習を支援しています。短期入院の子どもと家族には心の安定を図ること、長期入院の子どもと家族には生活の場を整えることを意識しています。また検査や手術に臨む子どもと家族には、子ども自身が話してくれる心配事や困っていることを傾聴し、日常生活（家庭や保育園、幼稚園、小中学校）の中で培ってきた力をもとに不安や心配を軽減できるように働きかけています。



保育士

赤津 美雪
あかつ・みゆき

保育士

小林 麻枝
こばやし・あさぎ

小児保健

予防接種外来は 予約なしで来院OK

小児保健では、乳幼児健診、予防接種、心理相談、新生児科外来などを担当しています。健診は予約制です。日赤医療センターは年間分娩数が多いため、昨年度の1カ月健診は年間2,500件に上りました。1カ月健診では母乳相談があり、ベテランの助産師が授乳のアドバイスをこなっています。3カ月健診以降は管理栄養士による栄養相談が受けられるので好評です。

平日午後の予防接種外来は予約なしでご来院いただけます。昨年度の予防接種外来受診者数は年間4,500人。お子さんの体調を見て当日に接種を決められる点が、来院のしやすさにつながっています。接種の際には東京23区内の定期接種チケットが利用できます。最近では予防接種の本数と種類が増え、3～5本のワクチンを同時に接種する方も増えてきました。ワクチンで防げる病気を少しでも減らせるよう、当科では任意接種のワクチン接種も勧めています。

心理相談は予約制です。各種知能・発達テストの実施に加え、お子さんの気になる行動やお母さんの育児上の悩みなど幅広い心配事に一緒に取り組んでいます。来談者に合わせた訓練や学習などを実践している点も特徴の一つで、小児科医とも連携しています。



助産師

大岡 千寿香
おおおか・ちずか



臨床心理士

比留間 敦子
ひるま・あつこ

小児科外来

新しい体重計を通して 成長と発達を見守る



体重計「ネオテーブル DS-30」。体重20kg、身長96cmまで計測可能

外来エリア2階の端、24番が小児科の外来です。待合室には、狭いですがブレイルームがあります。お子さんたちやご家族の方が一緒に本を読んだり、くつろいだりして診察を待っています。

外来には、1日80～100人以上の患者さんが来院されています。急性疾患から、生後間もない時期にいろいろな病気で手術を受けたお子さんたちまでが来院されています。0カ月～15歳（中学卒業まで）と年齢層も幅広いため、それぞれの年齢に応じた細やかな対応を心がけています。

子どもの成長・発達を知ることは、ご家族にとっても嬉しいことです。それを知る一つの目安として、身体測定があります。7月末、処置室の一角に新しい体重計がやってきました。体重20kg、身長96cmまで計測可能です。寝たままで体重・身長が計測可能になり、身体測定がより安全・安楽に行なえるようになりました。衣類の着脱から体重計への移動がスムーズに行なえ、あるお母さんからは、「今までより移動がスムーズで良いですね」と笑顔でご感想をいただきました。

これからもこの体重計と共に、多くのお子さんたちの成長・発達を見守っていきたく思います。



看護師

鍋田 真理子
なべた・まりこ

地域で支える医療ネットワーク

日赤医療センターの小児科と連携している医療機関をご紹介します。

医療法人社団 育心会 稲垣クリニック

小児科 内科 心療内科

診療時間 9:00～12:00 / 16:00～18:00
休診日 木・土午後・日・祝日

〒151-0053 東京都渋谷区代々木5-7-17
TEL. 03-5453-1399
<http://inagakiclinic.jp/>



院長
稲垣 稔
いながき・みのる

地域医療の相互作用を生かして

小児科医として40年診療を続けてきました。20年は臨床・教育・研究、あとの半分は地域医療に専念しています。長らく血友病の治療に関わった関係で、包括医療やカウンセリングの仕事もしてきました。そのため開業する際に、小児科、内科に加え心療内科を標榜しました。患者さんは小児が8割、成人が2割、心療内科関連が全体の1割弱です。入院が必要な患者さんは重症な方も軽症の方もみんな、日赤医療センターにお願いしています。いつも快く引き受けていただけるので、毎日安心して診療を続けられます。当院でも地域医療の実習に若い研修医の先生方がいらしています。入院をお願いした担当が以前研修にいらした先生だったりするとホッとします。患者さんを中心に病院と診療所が相互に反応し合っている姿が、まさに地域医療なのだと思える日々です。

おりつこどもクリニック

小児科

診療時間 8:30～12:00 / 14:00～18:00
※土曜日は8:30～12:00のみ
(受付は終了の30分前まで)
※14:00～15:00は予防接種・健診

休診日 水・日・祝日
〒107-0061 東京都港区北青山3-5-4
青山高野ビル5階
TEL. 03-6721-1188
<http://www.oritsu-kids-clinic.jp/>



院長
折津 友隆
おりつ・ともたか

一緒に悩み、考え、見守っている存在に

当院は2013年5月に開院したばかりの新しいクリニックです。私自身が生まれ育った青山の街で、子どもたちの健康を守るお手伝いをしたいという気持ちで開院しました。子どものちょっとした症状の訴えや、まだ話せない赤ちゃんの「ここが気になる！」など保護者の方々の不安について一緒に悩み、考え、見守っている存在になればと思いながら日々診療に従事しています。また“念のためこの薬も飲みましょう”はなるべく行わずに、必要最低限の投薬をしながら経過により方針を調整していくよう心がけるとともに、小児科専門医としての経験を生かして子どもを中心にご家族全体のフォローができればと思っています。

かただ小児科クリニック

小児科

一般診療時間 9:00～12:00 / 15:30～18:00
予防診療時間 14:00～15:30

休診日 木午後・土午後・日・祝日
〒108-0074 東京都港区高輪2-5-14
エルメゾン高輪1階

TEL. 03-5475-3260
HP1: <http://www1.cts.ne.jp/~katadapc/clinic/home.html>
HP2: <http://web.clinic.jp/katada/>



院長
堅田 泰樹
かただ・やすき

一人一人の患者さんに真摯に向き合う

子どもは、一人一人のお子さんおよび保護者の方に真摯に向き合い、チーム医療を実践させていただいております。また、日赤医療センター小児科主催の「日赤にじの会」などに参加し、地域で一貫した医療を担えるように努めております。

私は開業するまでの23年間、大学病院や小児病院などで教育・臨床・研究に携わってまいりました。それまでの少ない経験ではありますが、基幹病院を受診後スムーズに連携していただく際には、皆様方のかかりつけ医にご相談後のご受診がこれまで以上に重要ではないかと考えます。

医療法人社団 文昭会 内藤小児科内科医院

小児科 内科 アレルギー科
リウマチ科

診療時間 9:00～13:00 / 16:00～18:30
※木・土曜日は9:00～13:00のみ
(受付は終了の30分前まで)

休診日 日・祝日・第2木曜日
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-5-9
内藤ビル1階
TEL. 03-3713-2526



院長
内藤 昭三
ないとう・しょうぞう

第一線で小児科外来を始めて60年

恵比寿駅近くで小児科医院を開院して60年になります。成長したお子さんに出会っても思い出せなくなることが多くなりました。現在、内科・アレルギー科・リウマチ科も加えて診療しています。

日赤医療センターには、川崎病で著名な川崎先生がいらっしゃった頃から入院や検査が必要と思われる時に診療をお願いしています。小児は将来の希望であるという考えのもと、一般診療だけではなく予防接種、乳幼児健診などを通じて保護者の疑問や悩みに分かり易く回答できるよう心がけております。また必要に応じて小児科以外の診療科にも紹介させていただいております。

ステロイド外用薬の上手な使い方

ステロイド外用薬は、小児のアトピー性皮膚炎によく使われる薬です。しかし、ステロイドと聞くと「副作用が心配」「皮膚が黒くなりそう」など怖いイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか？
今回は、ステロイド外用薬の疑問点や正しい使用方法をご紹介します。

ステロイド外用薬Q&A

Q1 どれくらいの量を塗ればいいのか？

大人の両手のひら分くらいの面積の湿疹では、大人の人差し指から第一関節に乗る量（チューブの場合で約0.5g）を目安に塗りましょう（ローションの場合は1円玉の大きさの量が約0.5g）。



Q2 いつ、どのように塗ればいいのか？

入浴後、水分を拭き取った直後（入浴できないときや、1日2回以上塗る場合は、担当医師の指示に従う）に、たっぷりと皮膚にのせるように塗ります（下のイラスト参照）。湿疹は腫れている部分が出っ張ってデコボコしているため、薄く伸ばしたり擦り込んでしまったりすると出っ張った湿疹に薬が付かず、治療効果が半減してしまいます。頭皮に塗る場合は髪を分けて地肌を出し、ローションを垂らして指で押さえるように伸ばすと、湿疹のある部分まで薬が到達します。不潔な手で塗ると手に付いている刺激物を患部に付けてしまうため、塗る前に手をきれいに洗いましょう。

なお、使い方は症状によって異なりますので、回数・量・塗る期間を必ず医師に尋ねましょう。

×

擦り込んだり、薄く塗ると肝心の場所に薬が付かない

○

たっぷりと乗せるように塗ると必要な部分に薬が付く

Q3 妊娠中や授乳中も使用できるの？

ステロイド外用薬は局所的に作用する薬ですので、必要な量を決められた塗り方で使用していれば、全身に作用する心配はありません。妊娠中・授乳中も使用できます。

Q4 子どもが薬を塗った部分をなめてしまいました。大丈夫？

塗った部分をなめてしまった程度であれば、心配はありません。

どんな薬？

私たちの体の中では、副腎皮質という臓器で毎日一定量のステロイドホルモンが作られています。それと似た成分を含むステロイド外用薬は湿疹・かゆみを引き起こす原因である皮膚の炎症を抑えるのに効果的です。ステロイド外用薬は強いものから順にI群～V群の5段階に分類されています。顔、首、陰部など吸収率の良い部位には弱いものを選びます。また、子どもは吸収率が高いため、弱いものを選びます。医師の診察を受けて適切な薬を処方してもらいましょう。

副作用は？

ステロイド外用薬の副作用には「皮膚がやや薄くなる」「毛細血管の拡張（赤ら顔）」「薬を塗った部分に毛が増える」「ひび割れのようなしわやスジができる（皮膚線条）」などがあります。副作用の多くは、使用を中止したり使い方を変えたりすることで良くなくなります。ただし、皮膚線条は一度起こすと治らないため、皮膚線条を起さないよう医師の診察をしっかりと受けましょう。いずれの副作用も長期使用したときに起こるもので、必要なときにはしっかりとステロイドを使用して皮膚の状態を早く良くす

保管方法、使用期限に注意

薬は室温で保存するもの、冷蔵庫で保存するものなど保管方法が異なりますので、注意しましょう。また薬には使用期限があります。未開封のものは箱などに書いてある使用期限を、2種類以上の薬を混ぜてあるものは受け取る際に使用期限を確認しましょう。

ることが一番の予防になります。ステロイド外用薬の使用により「皮膚が黒くなる」「身長が伸びなくなる」と誤解されることがありますが、このような副作用が出ることはありません。



おっぱいの準備は妊娠中から始まっています

今回は、妊娠中から入院している妊婦さんのための母乳育児支援についてご紹介します。



周産母子ユニット5A
看護師長

鈴木 恵子
すずき・けいこ

母乳は、お母さんの血液を材料



母乳はお母さんの血液から作られる

「妊娠してからおっぱいのボリュームが増した気がする」という妊婦さんの声をよく耳にします。そのとおりで、ホルモンの働きにより、おっぱいの準備はすでに妊娠中から始まっています。これは入院中の妊婦さんも同様で、「からだ」は着々と赤ちゃんを迎えるその日のために準備を始めています。その準備が順調に進むよう、妊婦さんご自身でできることをご紹介しています。



妊娠後期には乳頭のお手入れがお勧め

出産を間近に控えた妊婦さんが入院してこられることもあります。そのような妊婦さんに対しては、間もなく始まる子育てをイメージすることができ、「こころ」と「からだ」の準備が整うように支援し

ていきます。妊娠後期の妊婦さんから「夜にしばしば目が覚めてしまいます」という話を伺うことがあります。これは、1〜3時間ごとにおっぱいを欲しがる赤ちゃんの哺乳リズムに因應するものです。赤ちゃんが生まれる前から「からだ」は産後の授乳生活に向けて準備を始めているのです。

妊娠後期には乳頭のお手入れもお勧めです。これをする中で、赤ちゃんが吸い付きやすいように乳頭のコンディションを整えることができませんので、入院中にお手入れ方法を一緒に確認しています。

さらに不定期ではありますが、周産母子ユニット内でマタニティークラスを開催しています。入院中の同じぐらいの妊娠週数の妊婦さんに集まっていただき、助産師が出産の話や出産後の話をします。双子の妊婦さんの交流会を開くこともあります。このほか、切迫早産で長期入院をしていた方が出産後に病棟を訪ね、子育て体験談をお話しくださることがあり、「授乳のイメージが具体的に」なる」と好評です。

ご家族から話が聞きたいというリクエストがあれば、個別に助産師から話をする機会も設けています。母乳育児にはご家族のサポートが大変重要です。ご家族の皆さんにも母乳の大切さを知っていただき、一緒に母乳育児に参加していただければと思います。

このように、妊娠中の予期せぬ入院生活においても、安心して母乳育児に向けた準備が整うように支援しています。

切迫早産や妊娠高血圧症候群などの理由で、妊娠中から病院で入院生活を送る必要がある妊婦さんがいます。そのような状況でも安心して母乳育児の準備ができるように、入院病棟では助産師が中心となってケアをしています。

「妊娠してからおっぱいのボリュームが増した気がする」という妊婦さんの声をよく耳にします。そのとおりで、ホルモンの働きにより、おっぱいの準備はすでに妊娠中から始まっています。これは入院中の妊婦さんも同様で、「からだ」は着々と赤ちゃんを迎えるその日のために準備を始めています。その準備が順調に進むよう、妊婦さんご自身でできることをご紹介しています。



母乳育児は家族のサポートも重要

Flower Shop *La Viola Hanacho*



生花店「La Viola Hanacho」

日赤医療センターの正面玄関から院内に入ってすぐ左手に目を向けると、色とりどりの季節の花が並んでいます。今回は、日赤通りの商店街に開業して100年以上の歴史を持つ「花長」の支店として長年、日赤医療センター内で営業を続けている“病院の花屋さん”をご紹介します。

営業時間 月～金 10:30～18:30 / 土・日・祝日 12:30～17:30 (第1・3日曜日は休み)

オリジナルの「ぬいぐるみ入りアレンジメント」は、出産のお祝い用としてだけでなく、「一人でも寂しくないように」との思いも込めてお作りしています。



花を通じて少しでも心豊かに……入院されている方だけでなく通院されている方にも、楽しい何かを見つけていただけますよう心がけております。



店長の
神成 良子さん
かなり・よしこ

お見舞い用の花束やアレンジメントはもちろん、お手軽なミニブーケなど、その場でお作りいたします。すぐにお持ち帰りいただける商品も多数取り揃えています。



ブリザーブド・アートをモチーフにしたアレンジ・リース

季節の雑貨と温かみのある手作り木工製品など、花と共に生活を彩るグッズが盛りだくさんです。



「クラフトマン Saito」の季節の木工作品



鎌倉小町通りにある和紙専門店「社頭」の手作りカードや便箋、のし袋など



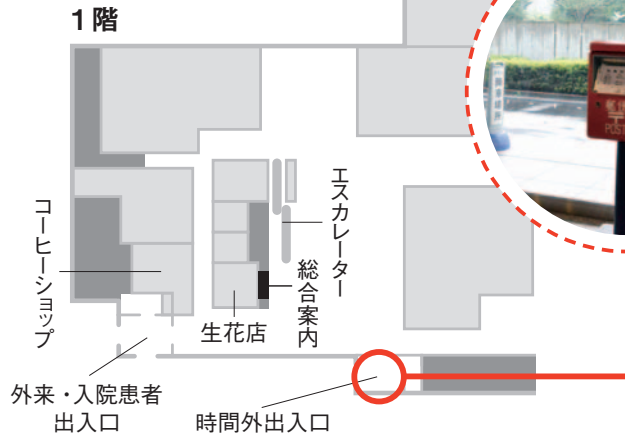
手芸作家まきこさんの季節感あふれるオリジナル手作り作品



「木工房さかい」の犬・猫のしっぽ振り時計・置き時計・小物作品

郵便ポストの位置を変えました!

病院の郵便ポストは、以前は屋外に設置していたため、雨の日や夜間に利用される皆さまにご迷惑をお掛けしていました。このたび、当該ポストの利便性向上のため、屋外から院内の時間外出入口内に移しましたので、ご案内いたします。今後もより良いサービスをご提供できるよう一層努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



診療のご案内

診療科目		外来診療を行わない科もあります	
● 糖尿病内分泌科	● 血液内科	● 感染症科	● アレルギー・リウマチ科
● 腎臓内科	● 緩和ケア科*	● 神経内科	● 呼吸器内科
● 消化器内科	● 循環器内科	● 小児保健	● メンタルヘルス科*
● 呼吸器外科	● 乳腺外科	● 胃・食道外科	● 肝胆膵・移植外科
● 大腸肛門外科	● 心臓血管外科	● 骨・関節整形外科	● 脊椎整形外科
● 脳神経外科	● 皮膚科	● 泌尿器科(紹介のみ)	● 腎不全外科
● 眼科	● 耳鼻咽喉科	● 産科*	● 婦人科
● 新生児科	● 小児科	● 小児外科	● 麻酔科
● 集中治療科	● 化学療法科	● 放射線特殊治療科	● 放射線診断科
● 放射線治療科	● リハビリテーション科	● 内視鏡診断治療科	
● 救急科(救命救急センター)	● 健康管理科(健康管理センター)		

健康管理センター ☎内線2213・2217

病気の早期発見・発症予防につながる各種プログラムをご用意しています(原則、予約制)。
● 人間ドック ● 一般健診 ● 海外渡航健診 ● 予防接種 ● 禁煙外来 ● 特定保健指導 ● ヘルスアップ外来

小児保健 ☎内線2836

● 乳幼児健診 ● 予防接種 ● 心理相談(完全予約制)

受付時間

● 初診の方: 午前8時30分～午後3時 ● 再診の方: 午前7時50分～午前11時30分

*初診の受付時間については、診療科により異なりますので、診療科受付窓口へお問い合わせください。また、診療科が異なる場合や最終来院日から1カ月以上経過した場合は、初診扱いとなりますのでご注意ください。

急病の場合: 曜日・時間に関係なく救急外来で診療します。ご来院の前にお問い合わせください。

診察カード: 全科共通で永久に使用します。ご来院時には必ずお持ちください。

健康保険証: ご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出ください。

院外処方せん: すべての診療科で発行しております。全国の保険薬局でお使いいただけます。

外来休診日

● 土曜日 ● 日曜日 ● 祝日 ● 12月29日～1月3日 ● 5月1日(日本赤十字社創立記念日)

お問い合わせ

☎ 03-3400-1311

交通のご案内

- JR 渋谷駅東口から約15分 都営バス「学03」系統 日赤医療センター行 終点下車
- JR 恵比寿駅西口から約10分 都営バス「学06」系統 日赤医療センター行 終点下車
- 港区コミュニティバス「ちいばす」 青山ルート「日赤医療センター」下車 徒歩(約2分)
- 地下鉄(東京メトロ) 日比谷線広尾駅から 徒歩(約15分)
- 首都高速道路3号線 (下り) 高樹町出口で降り、すぐの交差点(高樹町交差点)を左折。
(上り) 渋谷出口で降り、そのまま六本木通りを直進。青山トンネルを抜けてすぐの交差点(渋谷四丁目交差点)を右斜め前方に曲がる。東四丁目交差点を直進し、突き当たり左の坂を上る。

総合医療相談

医療相談 (月)～(金) 9:00～16:30

ソーシャルワーカーがご相談を承ります。患者さんやそのご家族と一緒に、さまざまなお悩みについて考え、問題解決へのお手伝いをします。どうぞお気軽にお越しください。

主な相談内容

経済的な問題(医療費、生活費)/家族など人間関係/社会復帰/社会保障制度や福祉サービスの利用/医療機関や福祉施設の紹介

看護相談

(月)～(金) 9:00～16:30

療養生活全般に関する、患者さんやご家族からのご相談を承ります。

主な相談内容

介護保険の利用方法/在宅医、訪問看護、福祉用具、医療機器などの紹介

栄養相談

主に生活習慣病(糖尿病・高脂血症・高血圧など)、心臓病、妊娠中毒症の方の食事について、医師の指示に基づき管理栄養士が栄養指導を行います。ご希望の方は主治医にお申し出ください。

主な食事療法

腎臓食、肝臓食、糖尿食、肥満、胃潰瘍食、貧血食、膵臓食、高脂血症食、痛風食、濃厚流動食、無菌食

お薬相談

薬に関するご相談・ご質問について、薬剤師がお答えします。

がん相談支援センター

(月)～(金) 9:00～16:30

がんの療養に関するさまざまな疑問やお悩みをご相談いただけます。

主な相談内容

がんに関する療養上のご相談/セカンドオピニオンについて/緩和ケアについて/医療費について

当センターは患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。

当センターは、個人情報を定められた目的のみに利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。個人情報の利用目的や、個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、総合医療相談の窓口までお気軽にお問い合わせください。

日本赤十字社医療センター院長

ホームページ
アドレスのご案内

日赤医療センターに関すること <http://www.med.jrc.or.jp/>
赤十字全般に関すること <http://www.jrc.or.jp/>

● 外来診療の最新スケジュールは、当センターのホームページでご確認ください。『TeaTime』のバックナンバー(PDF版)もご覧いただけます。



←モバイルサイトは
こちらから。
(docomo/au/SoftBank対応)